


事業名	～高齢者の社会参加をより促進するために～ 都内初！「港区モデル」補聴器購入費の助成をスタートします
------------	--

ここがポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難聴高齢者の聞こえを支援し、高齢者の社会参加を応援します。 ◆ 補聴器相談医、認定補聴器技能者と連携した「港区モデル」により補聴器購入費を助成します。 	予算額	2,272万4千円
	区分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規 □ 臨時(□ 新規・□ 継続) □ レベルアップ 	

概要	<p>区は、認知症の危険因子の1つと言われる高齢者の難聴を早期に発見し、適正な補聴器使用を「港区モデル」で支援していくことにより、高齢者がいつまでもいきいきと地域で活躍できるよう支援します。</p> <p>「港区モデル」とは 難聴高齢者の早期発見の取組と、補聴器相談医や認定補聴器技能者と連携した、補聴器の購入前の相談からアフターケアまでを支援する港区独自の制度です。令和2年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究」に港区の高齢者支援課長が参加し、研究結果を基に区が制度化しました。</p> <p>制度のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ポイント1 自分では気づきにくい難聴を早期発見する取組 <ul style="list-style-type: none"> ① 介護予防事業の参加者など高齢者を対象に「聞こえのチェックリスト」を活用した自己チェックの実施や聞こえに関する講座を開催し難聴を早期に発見 ◆ ポイント2 購入した補聴器をしっかりと使い続けるための支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 購入前に補聴器相談医を受診。補聴器利用について相談や説明を受けられる ② 認定補聴器技能者により購入時の調整や購入後のアフターケアを受けられる ◆ ポイント3 多くの高齢者が補聴器を使用できるよう充実した制度設計 <ul style="list-style-type: none"> ① 対象年齢は60歳から ② 対象者の所得制限はなし ③ 助成限度額は137,000円（住民税課税の方は1/2）
	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象 以下の条件を全て満たす方 <ul style="list-style-type: none"> (1) 区内在住の60歳以上の方 (2) 聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方 (3) 区が指定する医療機関を受診し、補聴器が必要と診断された方 ■ 助成額 補聴器購入額(上限137,000円) ただし、住民税課税の人は補聴器購入額の1/2(上限68,500円) ■ 申請期間 令和4年4月1日(金曜)から 

問合せ	<p>課長 高齢者支援課 金田</p> <p>☎ 03-3578-2390(直通)</p>
	<p>係長 高齢者支援課 在宅支援係 小林</p> <p>☎ 03-3578-2400(直通)</p>